

8月4日(月)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージーザ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

バッハとモーツァルトの 練り上げられたプログラムが 10回の節目を飾る!



8/3 真夏のバッハ

© 増田雄介

サマーミュージーザ名物「真夏のバッハ」。ミューザの大オルガンを生かした好企画だ。10回目となる今回は、オルガニストの徳岡めぐみの発案で、バッハにモーツァルトを加え、徳岡が編曲したオルガン伴奏版の声楽曲も組み込んだ、盛りだくさんのプログラムが披露された。

まず、曲の内容を考えて連結されたプログラムに驚く。前半はバッハの『幻想曲』BWV572で始まったが、通常は華やかなストップが用いられる第3部でフルート系のストップを使用して音量を抑え、次の『マタイ受難曲』の改悛のアリア「憐れみたまえ」へとつなげた。『マタイ』の次には、やはり涙を誘うモーツァルト『レクイエム』の「涙の日」が四重唱で歌われる。しっとりした前半部がこうやって出来上がる。『マタイ』のアリアを歌った谷地畝晶子の深いアルトの音色も心に残った。

後半はモーツァルトの『幻想曲』K.608で開

始。対位法も駆使されるが、モーツァルトの「翳り」はロマン派の予兆だと知る。続いてバッハ『マニフィカト』の第2,10曲があり、その10曲と同じテーマの『フーガ』BWV733へと繋げる。これまた絶妙な選択だ。ソプラノの隠岐彩夏が清潔感あふれるフレージングを聴かせたモーツァルトの『ヴェスプレ』K.339「主をほめたたえよ」を経て、最後はバッハ若き日の傑作『パッサカリア』BWV582。バッハならではの高揚感が味わえる作品だが、徳岡は悠然とした歩みを崩さず、宇宙から俯瞰するようなスケールの大きな演奏を聴かせた。この曲に限らず、ストップ使いの多彩さとダイナミズムは徳岡の美点だろう。

アンコールは歌手全員の五重唱で「主よ、人の望みの喜びよ」。途中の出演者のコメントで「まだバッハを歌っていない」「では今夜中に」というやりとりがあったのを思い出した。笑みを誘う洒落たエンディングだった。

(音楽物書き 加藤浩子)



(左から) 後藤春馬 経塚果林 隠岐彩夏
徳岡めぐみ 谷地畝晶子 隠岐達人

ご来場者の声

バッハのオルガン曲が大好きでコンサートにはよく行くのですが、今回のバッハとモーツァルトの“コラボ”コンサートはこれまた新鮮でした!しっとりしたお話の仕方でもとてもスレンダーな徳岡さんが、あんなにバワフルにオルガン演奏をされるのがもう感動!!モーツァルト「幻想曲へ短調」の足鍵盤のトリルも見逃せませんでした。本日より徳岡さんのファンになりました!!(manman) / 徳岡さんがオルガンを弾く姿が美しかった。オルガンと声楽の組合せが良かった。今日はサマーミュージーザの梯子(昭和音大→ミューザ)でしたが、楽しい1日でした。(60代・会社員・国産機械マニア) / パイプオルガンの生演奏、はじめて聴きました。圧巻でした!心にもどんと響く音楽の素晴らしさを改めて実感しました。素敵な公演をありがとうございました。(30代・インフルエンサー・しずか) / 初めてのコンサートホールでのパイプオルガン。教会とは異なる感じで落ち着いて聴くことが出来ました。オルガンの独奏も良かったですが、あまり生で聴いたことのない声楽の入った曲も良かったです。特に後半の曲が好きです。バッハ BWV243、BWV733 も良かったですが、モーツァルトの K.339 すごく良かったです!!(70代・音楽大好きなヒロ)

オリジナルグッズ 好評発売中



A4 クリアファイル
税込 ¥330 (税別 ¥300)



サマーミュージーザ扇子 数量限定
税込 ¥1,980 (税別 ¥1,800)

ホール内ショップ
ホール2F ホワイエ(期間限定) 他
にてお取扱い中

フェスタ■サマーミュージーザ KAWASAKI 25 明日の公演情報

昭和音楽大学

若き感性がつむぐ、色鮮やかなフランスの風

8/5(火) 18:30開演

指揮：田中祐子

管弦楽：昭和音楽大学管弦楽団、テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ

- モーツァルト：交響曲第31番『パリ』
- ドビュッシー：交響詩『海』
- ラヴェル：『ダフニスとクロエ』第2組曲
- ラヴェル：ボレロ

全席指定 2,000 円

TEL・WEB 予約 当日 16:30まで
当日券カウンター 17:30 より

田中祐子(指揮)



当日券あり



色彩感やダイナミズムが 共生した快演!

8/3 東京交響楽団 (出張サマーミュージア@しんゆり!)

© 藤本史昭

「出張・サマーミュージア@しんゆり!」の東京交響楽団公演は、桂冠指揮者ユベール・スダーンの指揮。2004年から10年間音楽監督を務めたスダーンは、ピリオド奏法を応用したストレートでピュアな響きと精緻で引き締まった音楽を創造し、東響に新風を吹き込んだ。そして退任後も随時客演し、当時を想起させる表現で聴く者を魅了している。

今回もまさにそうした好演が展開された。幕開けはモーツァルトの『皇帝ティートの慈悲』序曲。ノン・ヴィブラートで奏されるタイトにして濃密な音楽が、スダーンならではの魅力を伝える。同じくモーツァルトのピアノ協奏曲第27番は、山縣美季が粒の揃った音で軽やかな

ソロを繰り広げる。華麗に弾き飛ばすと台無しになる難曲だけに、20代前半としては上々のパフォーマンス。芳醇かつ滋味深い管弦楽もバランス良く盛り立てる。

後半のムソルグスキー(ラヴェル編)の『展覧会の絵』では、スダーン一流の緻密さや丁寧さと、曲の持つ色彩感やダイナミズムが共生した快演が耳を楽しませる。明朗・光輝なトランペット独奏も冒頭をはじめ随所で効果を発揮。そして最後の高揚感が爽快な後味を残す。

“別館”とも言える「しんゆり」の公演で、スダーン・クラスの指揮者が密度の濃い演奏を聴かせる……これもサマーミュージアの侮れない魅力であることを実感させられた。

(音楽評論家 柴田克彦)



© 藤本史昭

指揮: ユベール・スダーン ピアノ: 山縣美季

ご来場者の声

スダーンさんと東響の息の合った演奏を聴くことができて大満足でした。管楽器のソロの方々が素晴らしかったです!(特にトランペット、ファゴット、ホルン、サクソの方) 東響の気概の込められた演奏が大好きです。(20代・会社員・匿名) / ピアノ独奏の山縣美季さん! 静謐さと軽やかさを感じる心地よい演奏でした! そして東響でいつか聴きたかった「展覧会の絵」。キーウの大門では透き通ったトランペットの音と大音圧のエンディングに心が沸騰!(60代・グループ) / さすがスダーンさん。きめるべきところを手堅くきめて、キーウの大門では大きな盛り上がりを見せてくれた。(60代・会社員・hide) / 山縣美季さんのピアノの音色は柔らかくとても温かみ溢れる素晴らしいものでした。勿論、東京交響楽団の演奏は素晴らしく展覧会の絵は圧巻! 流石でしたね。心から楽しんで癒されました。ありがとうございました。(70代・介護職・せつちゃん) / ムソルグスキーの生前には展覧会の絵は演奏されなかったことをパンフレットで知った。それを知って演奏を聴いた。私の音の原点に限りなく近い展覧会の絵。創ってくれてありがとう。自然と涙が流れた。(60代・会社員・トミタEL&P)



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

大葉香る海老とアボカドの
明太子ドリア(税込850円)
ほうじ茶ラテR(税込550円)

ゆったり近場で小休憩♪

すでにこのコーナーでも多数紹介されているとおり、ミュージア川崎周辺には飲食店がたくさん。初めての食レポはどこにしよう…ホールを初めて訪れたお客様も立ち寄りやすいところ…ということで、ミュージア川崎1階のエクセルシオールカフェに行ってきました!

「大葉香る 海老とアボカドの明太子ドリア」はボリュームたっぷり大満足、大葉ソースが爽やかでさっぱりといただけます。ドリンクも種類豊富で何度行っても楽しめますよ。この日はほうじ茶ラテにしました☆

コンサートの前にワクワクを高める時間、コンサート後に余韻を楽しむ時間に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(ホール案内・お)

エクセルシオールカフェ

A ミューザ川崎 1階

PARTNERSHIP SHOP 特典

全ドリンクサイズアップ無料

※「優待チラシ」持参者のみ(1名)

※営業時間内は終日可



フェスタサマーミュージア公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージア

で検索&投稿

お待ちしております!



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall

「部屋が、ちよつと寒いです。」
高校時代に、赤点を取ったことはない。文系選択までは、数学も得意だったはずだ。それから、社会の荒波の中を、数学を駆使することなく生きてきた。しかし、今、目の前を支配しているのは、比例、積分、微分という空調機の制御だ。確かこの三つは習得したはず、赤点をとっていないのが、何よりの証拠である。では、何故目の前の比例たちは、言うことを聞かないのだらう。比例は、意図した温度と今の温度の乖離から計算する。積分は過去のデータからズレをみて、微分は変化の時間をみて制御する。そう、各空調機の癖も含めて理解しているはずだ。

問題があれば、逃げずに正面からぶつかって、真っ直ぐ生きてきた私は、横から攻められると弱い、これは因果だ。そうか、今、湿度という新たな敵が横から攻めてきたのだ。ならば、ここは……そうだ、先人の知恵に頼ることにしよう、マニュアルだ。良かった、上手くできるだろう。(設備担当・N)

編集部注: 設備担当のみなさんは、ホールをはじめ、研修室・会議室・練習室などミュージアの空調の管理を一手に担っています。但しそのコントロールは大変デリケートで……

ス
タ
ツ
フ
日
誌